

くすのき



学校教育目標：学びいっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱいの「三坂地っ子」の育成

小中一貫教育研究授業

今年度も、研究主題を「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成ー課題発見・解決学習と体験活動の推進を通してー」として、広中央中学校区（広中央中学校・広小学校・三坂地小学校）で小中一貫教育に取り組んでいます。

先日、今年度2回目となる研究授業を、本校2年1組で行いました。国語科 単元名「物語を読んで、感想を伝え合い、2年1組ペープサート劇場を開こう！『お手紙』」の授業について、3校の教職員が一堂に会して授業参観・研究協議を行いました。2年1組の子供達は、はじめこそ多くの先生方に圧倒されている様子がありましたが、すぐにいつも通りの元気な様子で発表したり友達とペアトークをしたりと、生き生きと活動している様子を見ていただくことができました。担任の泉教諭が、目的意識と相手意識を明確にしてデザインした単元のゴールに向かって、考えを深めていく子供達の様子には、目を見張るものがありました。日頃からの指導の賜だと感じました。

授業後の研究協議会では、参観された広中や広小の先生方から、次の授業改善につながる貴重なご意見をいただきました。また、呉市教育委員会学校教育課 指導主事 岡田 武士先生より、「主体的に学び、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり」についてご指導いただきました。「子供達が『学びたい！表現したい！』と思える場づくり」が重要であることを全教職員で共有でき、本中学校区の授業改善に向けて大変有意義な学びとなりました。

3学期には、広小学校で第3回目の研究授業が行われます。子供達が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりに引き続き取り組んでいきます。



有意義な冬休みを・・・

修学旅行や野外活動、学習発表会など、大きな行事が続いた2学期も12月23日(月)に終業式を迎え、24日(火)から冬休みに入ります。冬休みといえば、大晦日にお正月、初詣など、昔から大切にされてきた行事がたくさんあります。また、今年一年大きな事故もなく過ごすことができたことへの感謝を込めて、家族やお世話になった方々に、「今年もありがとうございました」「来年もよろしくお願いします」と、きちんとご挨拶をすること、そして、さようならの代わりに、「良いお年を」と言ってお別れするのも、年末の特別な挨拶だと、子供達に話をしました。家庭や地域で子どもたちの元気な挨拶が聞こえると、うれしく思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年も本校の教育にご理解とご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。

